

F. スピード F-1 タッピング

氏名：	記録日：	記録者：
-----	------	------

◆用意するもの:①数取器、②タイマー

◆検者と被検者の位置:

被検者は椅子に腰掛け、楽な肢位で大腿の上に手をおく。検者は対面して座る。

◆検査手順:

- 1) 検者は被検者に数取器を見せながら、次のように言う。「これから手の動作スピードを調べます」。
- 2) 大腿の上で被検者に数取器を持たせ、母指をレバーの上に置かせる。
- 3) 検者は「まず練習してみましょう。カチッと音がするまで親指でレバーを押してください」と告げ、レバーを押したときに数取器のカウンターが変わるのを被検者に確認させる。操作時に、途中で手が大腿から離れてもよい。
- 4) 検者は「こんどは合図のあと、できるだけ速く繰り返し押してください。5秒間やっていただきます」と告げ、「よーい、スタート」といって測定を開始し、5秒たったところで「やめ!」と言う。
- 5) 2試行実施後、反対側でも同様に行う。

◆記録:

数取器の値を読み取り、記録する。2試行の平均値を記す。

◆観察所見:特記事項があれば記述する。

	右 手			左 手		
	(本来の利き手・非利き手)			(本来の利き手・非利き手)		
	(健側・患側)			(健側・患側)		
	(優位手・非優位手)*			(優位手・非優位手)*		
	試行1	試行2	平均	試行1	試行2	平均
回数/5秒	回	回	回	回	回	回
観察所見						

* 優位手とは被検者がもっとも使いやすいと感じる方の手

F. スピード F-2 手の移動

氏名:	記録日:	記録者:
-----	------	------

◆用意するもの:

①タイマー

◆検者と被検者の位置:

被検者は楽な姿勢で椅子に腰掛ける。手を軽く握らせ、前腕中間位で大腿部中央に置く(開始肢位)。検者は対面して座る。

◆検査指示

1) 被験者に開始肢位を取らせたのち、次のように言う。「こんどは腕の動作スピードを調べます。この位置から手を顎につけて、元の位置にもどしてください。少し練習してみましょう。」

2) 動作が理解できたかどうか確認する。動作中、頸部が突き出たり、体幹が前屈しないように注意させる。

3) 正しく行えることを確認したのち、次のように言い、検査を開始する。「私が合図するまで、いまの動作をできるだけ速く、5秒間繰り返してください。よーい、スタート」。5秒経過後「やめ!」と言う。

4) 2試行実施後、反対側でも同様に行う。

◆記録:

手が顎に接触したら1回と数え、5秒間に手が顎に接触した回数を記録する。

◆観察所見:

特記事項があれば記述する。

	右 手			左 手		
	本来の(利き手・非利き手)			本来の(利き手・非利き手)		
	(健側・患側)			(健側・患側)		
	(優位手・非優位手)*			(優位手・非優位手)*		
	試行1	試行2	平均	試行1	試行2	平均
回数/5秒	回	回	回	回	回	回
観察所見						

* 優位手とは被検者がもっとも使いやすと感じる方の手